

現代社会

総合学科

教科	地理歴史	単位数	2単位	対象	2年次	選択群	E群
使用教科書	現代社会 (東京書籍)			副教材等	テーマ別資料現代社会 (とうほう)		履修 <input checked="" type="checkbox"/> 履修・選択
授業の概要				学習の到達目標		履修の条件・進路	
現代社会の特徴、青年期の問題、日本や世界の国々の経済、日本国憲法や民主政治、国際社会などについて学習しながら、これからの社会はどうあるべきか、さらにその社会のなかで私たちはどのように生きていくべきかについて考えていきます。				<ul style="list-style-type: none"> 現代社会の諸問題について理解を深めるとともに、主体的に考える態度を身に付ける。 出来事や資料を分析し、自分自身の意見をもち、それを表現する。 		2年次生が履修します。	
学年間の計画	月	単元名	項目	学習内容			
	4月	第1章 青年期と自己形成の課題	1 現代社会と青年の生き方	<ul style="list-style-type: none"> 調べよう・考えよう テーマ学習(地球環境・科学技術の発展・情報化) 1 現代社会と青年 2 青年期の発達課題 3 自己形成と社会のかかわり 4 進路と生きがいの創造 			
	5月	第2章 日本国憲法と民主政治	2 よりよく生きることを求めて	1 哲学と人間 2 宗教と人間 2 近代科学の考え方			
	6月		1 民主政治とは	1 民主政治の成立 2 基本的人権の確立 3 世界の政治体制			
	7月		2 日本国憲法の基本原理	1 日本国憲法と三つの原理 2 基本的人権の尊重			
			3 日本の政治機構	3 新しい人権と人権保障の進展			
	9月	第3章 現代社会と法	4 現代政治の特質と課題	1 国会と立法 2 内閣と行政 3 裁判所と司法			
			1 現代社会と法	4 地方自治			
			1 経済のしくみ	1 選挙のしくみ 2 政党 3 世論			
			2 変化する日本経済	1 法の働き 2 社会生活と法 3 司法と人権			
			3 豊かな生活の実現	1 経済社会の変容 2 現代の企業 3 市場経済のしくみ			
	10月	第4章 現代の経済と国民福祉	4 豊かな生活の実現	4 国民所得と経済成長 5 金融のしくみと働き			
11月	1 国際政治のしくみと動向		6 中央銀行の役割と金融の自由化 7 政府の役割と財政				
12月	2 国際経済のしくみと動向		1 戦後復興と高度経済成長 2 産業構造の転換と国際経済環境の変化 3 バブル後の日本経済 4 中小企業と農業				
	1 国際社会の現状と課題	1 自立した消費者への道 2 労働者の権利 3 現代の雇用・労働問題 4 社会保障の役割 5 環境保全と循環型社会					
1月	第5章 国際社会と人類の課題	2 国際経済のしくみと動向	1 国際社会の特質 2 国際紛争を避けるしくみ 3 国際連合と安全保障 4 国際連合の役割と課題 5 冷戦とその後の世界 6 軍縮への取り組み				
2月		1 国際社会の現状と課題	1 貿易と国際分業 2 外国為替のしくみと国際収支				
3月		1 国際社会の現状と課題	3 戦後国際経済の枠組みとその変化 4 対立と協調の時代 5 グローバル化する経済				
学習方法	<p>【予習】 教科書をよく読んで、概要をつかんでおきましょう。</p> <p>【授業】 まずよく聞いて理解することです。また、自分の意見がもてるように考えましょう。</p> <p>【復習】 重要語句について覚えましょう。また、ワークブックで解いた問題を見直しましょう。</p>						
評価の観点・評価標準・評価方法	関心・意欲・態度		思考・判断・表現		技 能		知識・理解
	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会の基本的な問題について関心をもって積極的に授業に参加する。 予習・復習・課題をきちんと行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 現代社会の中から課題を見つけ出し、広い視野に立って多面的に考える。 様々な考え方があることを踏まえ、公正に判断し、自分の意見を表現することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 資料を収集し、資料の意味するものを的確にとらえることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 現代社会の基本的な問題について、それらの学び方を理解するとともに、その知識を身に付ける。
	<p>評価方法</p> <p>※ 上記の観点を基に、各学期とも評価する。</p> <p>A：主に<u>調査</u>による観点別評価</p> <p>B：主に<u>授業等</u>の活動による観点別評価</p>		<p>第1・2学期</p> <p>A：7割 B：3割</p> <p>Bは、授業態度(発表)、小テスト、課題の取組状況、長期休業中の課題等</p>		<p>第3学期</p> <p>A：7割 B：3割</p> <p>Bは、授業態度(発表)、小テスト、課題の取組状況、冬季休業中の課題等</p>		<p>年度末</p> <p>1・2・3学期の平均</p>
備考							

倫理

総合学科

教科	公民	単位数	3単位	対象	3年次	選択群	M群
使用教科書	高等学校 改訂版 倫理 (第一学習社)			副教材等	倫理ワークブック(高教研)	履修	必履修・ 選択
授業の概要				学習の到達目標		履修の条件・進路	
人間とは何か、人間はどう生きていくべきなのか、家族、国家、民族とは何かなどといった様々な問いを見つけたり、考えたりします。また、様々な問いについて考えてきた先人たちの知恵や思想を学び、日常生活で直面する問題についての考え方や対処のしかたを考えていきます。				<ul style="list-style-type: none"> ・広い視野に立って、人間としての在り方、生き方についての自覚を育てる。 ・民主的、平和的な国家・社会をつくりだす公民としての資質を養う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・センター試験で倫理を必要とする生徒を対象としています。 	
月	単元名	項目		学 習 内 容			
学 習 の 年 間 計 画	4月	第1章 青年期の課題と自己形成	1 よく生きることを求めて 2 青年期の課題 3 自己の探求 4 現代の青年期	1 青年期の心理とパーソナリティー 2 青年期の人間関係			
	5月	第2章 人間としての自覚	1 ギリシャの思想	1 哲学の形成 2 ソクラテス 3 プラトン			
	6月		2 キリスト教 3 イスラーム 4 仏教	4 アリストテレス 5 ギリシャ思想の展開 1 ユダヤ教の世界 2 イエス 3 キリスト教の発展			
	7月			1 インドの思想文化 2 ゴータマの教説 3 仏教思想の展開			
	9月	第3章 国際社会に生きる日本人としての自覚	5 中国の思想	1 中国の思想文化 2 儒家の思想 3 道家の思想			
	10月		1 日本の風土と伝統 2 外来思想の受容 3 町人意識のめざめと庶民思想 4 西洋思想との出会い	1 日本仏教の展開 2 日本儒学の展開 1 義理と人情 2 国学の成立 3 庶民の思想 4 伝統思想の成熟 1 幕末の思想 2 明治の啓蒙思想 3 日本社会とキリスト教 4 社会思想の展開 5 近代的自我の確立 6 近代日本の思想課題			
	11月						
	12月	第4章 現代に生きる人間の倫理	1 人間の尊厳 2 近代の科学革命と自然観 3 自由で平等な社会の実現 4 人間性の回復と主体性の確立 5 現代の思想と人間像 6 生命への畏敬と社会奉仕	1 ルネサンスと宗教改革 2 人間性の探求 1 近代の科学革命 2 経験論と合理論 3 自然観の転換 1 社会契約の思想 2 人格の尊厳と自由 3 人倫と自由の実現 4 功利主義の思想 1 社会主義の思想 2 実存主義の思想 3 プラグマティズムの思想			
	1月	第5章 現代の諸課題と倫理	1 生命倫理と課題 2 環境の問題と課題 3 家族・地域社会と倫理課題 4 情報社会と倫理課題	1 生殖医療と遺伝子操作 2 脳死臓器移植と再生医療 1 有限な地球環境 2 生物多様性と自然の共生 1 少子化と男女共同参画社会 2 高齢化と地域社会 1 情報の洪水と情報リテラシー 2 ネットワーク社会と情報モラル			
	2月		5 宗教文化と倫理課題 6 国際平和と人類の福祉	1 宗教信仰への理解と現代世界 1 地球市民として 2 平和な世界に向けて			
	3月						
	学習方法	【予習】 教科書の該当するページをよく読み、重要語句や分からない語句をノートにメモしておきましょう。 【授業】 集中して作業学習に取り組み、説明をよく聞き、学習内容をよく理解しましょう。 【復習】 学習した内容をノートに見直して整理し、重要語句は数回ノートに書き、理解を確実にしましょう。					
評価の観点・評価規準・評価方法	関心・意欲・態度		思考・判断・表現		技 能		知識・理解
	<ul style="list-style-type: none"> ・予習、復習をきちんと行う。 ・主体的・意欲的に課題を追究し人間としての在り方生き方の自覚を深めようとする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・人間尊重の精神に基づき広い視野に立って、多面的・多角的に考察するとともに、その過程や結果を適切に表現する。 ・社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に必要な諸資料を収集し有用な情報を主体的に選択して活用する。 ・思想や宗教に関する資料を適切に読み取り、人間の生き方について関心を深める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の自己形成と、人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄を、自己とのかかわりにおいて理解し、その知識を身に付ける。
	評価方法		第1・2学期		第3学期		年度末
	※ 上記の観点を基に、各学期とも評価する。 A：主に調査による観点別評価 B：主に授業等の活動による観点別評価		A：7割 B：3割 Bは、授業態度(発表)、小テスト、課題の取組状況、夏季休業中の課題		A：7割 B：3割 Bは、授業態度(発表)、小テスト、課題の取組状況、冬季休業中の課題		1・2・3学期の平均
備考							

政治経済

総合学科

教科	公民	単位数	3単位	対象	3年次	選択群	M群
使用教科書	最新 政治・経済(実教出版)			副教材等	政治経済ワークブック(高教研)		履修 必履修・ 選択
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路	
日本や世界の国々の政治、日本国憲法の概要、また、経済のしくみや世界の国々の経済的な結びつきなどを学習し、政治と経済、国内と世界を関連させて考察していきます。			<ul style="list-style-type: none"> 政治や経済についての基本的な事項についての理解を深め、それぞれに関連があることを理解する。 資料や統計を活用し、政治や経済についての見方や考え方を身に付ける。 			公務員試験受験を考えている生徒や就職希望の生徒対象の科目です。	
学年 の 計 画	月	単元名	項 目	学 習 内 容			
	4月	第1編 現代の政治	第1章 現代国家と民主政治	1 民主政治の成立 2 民主政治の基本原理 3 民主政治のしくみと課題 4 世界のおもな政治制度			
	5月		第2章 日本国憲法と基本的人権	1 日本国憲法の成立 2 日本国憲法の基本原理 3 自由に生きる権利(1)(2) 4 平等に生きる権利 5 社会権と参政権・請求権 6 新しい人権 7 人権の広がりとは公共の福祉			
	6月		第3章 日本の政治制度と政治参加	1 政治機構と国会 2 内閣と行政機能の拡大 3 公正な裁判の保障 4 地方政治と住民福祉 5 政党政治 6 選挙制度 7 世論と政治参加			
	7月		第4章 現代の国際政治	1 国際社会と法 2 国際社会の変化 3 国際連合と国際協力 4 第二次世界大戦後の国際政治 5 冷戦終結後の国際政治 6 軍拡競争から軍縮へ			
	9月	第2編 現代の経済	第5章 日本の平和主義と国際平和	1 平和主義と自衛隊 2 日米安全保障体制の変化 3 21世紀の平和主義 4 日本の外交と国際社会での役割			
	10月		第1章 経済社会の変容 第2章 現代経済のしくみ	1 資本主義の成立と発展 2 現代の資本主義経済 1 経済主体と市場の動き 2 企業の役割 3 国民所得 4 経済成長と国民の福祉 5 金融の役割 6 日本銀行の役割 7 再生の役割と租税 8 日本の財政の課題			
	11月		第3章 現代の日本経済と福祉の向上	1 戦後復興から高度経済成長へ 2 安定成長からバブル経済へ 3 転機にたつ日本経済 4 中小企業と農業 5 消費者問題 6 公害防止と環境保全 7 労働問題と労働者の権利 8 こんにちの労働問題			
	12月	第3編 現代社会の諸課題	第4章 現代の国際経済	9 社会保障の役割			
	1月			1 貿易と国際収支 2 外国為替市場のしくみ 3 第二次世界大戦後の国際経済 4 国際経済の動向(1)(2) 5 発展途上国の諸問題 6 経済協力と日本の役割			
	2月			・地域社会の変貌と住民自治、中小企業・農業・食糧問題 少子高齢社会と社会保障、地球環境問題などから選択			
	3月	・課題学習					
学習方法	<p>【予習】 教科書の該当ページをよく読んで、わからない語句については調べておく。</p> <p>【授業】 授業をよく聞いて、内容を理解する。難しいところについては質問しよう。</p> <p>【復習】 重要語句については覚えよう。また、現在のニュースと授業の内容を結びつけて考えることができたかなおよいと思います。</p>						
評価の観点・評価規準・評価方法	関心・意欲・態度		思考・判断・表現		技 能		知識・理解
	<ul style="list-style-type: none"> 現代の政治、経済、国際関係などに対する関心をもって意欲的に課題を追求しようとする態度で授業に参加する。 		<ul style="list-style-type: none"> 現代の政治、経済、国際関係などにかかわる事柄から課題を見つけ、望ましい解決方法について考える。 資料を用いて、効果的な表現を行うことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 資料を様々な方法で収集し、その中から必要な資料を選び出すことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 現代の政治、経済、国際関係の本質や動向を理論的・客観的に理解し、それを知識として身に付けている。
	評価方法 ※ 上記の観点を基に、各学期とも評価する。 A：主に調査による 観点別評価 B：主に授業等の活動による 観点別評価		第1・2学期 A：7割 B：3割 Bは、授業態度(発表)、小テスト、課題の取組状況、夏季休業中の課題等		第3学期 A：7割 B：3割 Bは、授業態度(発表)、小テスト、課題の取組状況、冬季休業中の課題		年度末 1・2・3学期の平均
備考							